

要來

鄭世八 齋業日ハスニ不當イ之當ニ就財入不事單置ニ就負

日本平五十一日廿五  
合中區食求二關  
又求價目  
並發又求

如附卷之三附錄王策刻之藝文志及三會館鄉工刊

(五) 華僑單方贊助之組織

(二) 眞建偉全集支錄之八

要來

鄭世八 齋業日ハスニ不當イ之當ニ就財入不事單置ニ就負

良箇所作製マデノ工程ニ對シテハ常備工賃ヲ支拂フ  
モ原因ガ前者ト同ジク職工ノ怠慢ニ在ルコト明トナ  
リタル場合又同様ニ補償セシムル罰則ヲ設ケタリ  
職工ハ之ガ撤廢ヲ要求ス

(四) 入社後三ヶ月ヲ經過セル臨時工ハ現給ノママ本雇ニ編入スルコト

(五) 解雇手當ヲ改正實施スルコト

社 六ヶ月未満八日給二十五日分

(口) 一ヶ年末満ハ 三十日分

(ハ) 一ケ年以上ハ一ケ月毎ニ日給二分ヲ加フルコト  
(ニ) 從來勤續一ケ年ニ付日給二分ヲ支給スル内規存在  
(三) スルモ之ヲ改正右記ノ如ク増額公表スルコトヲ要求

(六) 常備職工ニ對シテハ歩増ヲ本給ニ繰リ入レルコト

(註)從來常傭工ハ全職工一ケ年十萬圓ヲ限度トシ日給ノ